

2025年 1月 26日

主 日 礼 拝 午前8時半 / 10時半 / 夜7時

司 会 白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 小山美枝子姉

賛 美 聖歌486番「きたれ友よ共にイエスの」

～栄光あれ～

主の祈り

聖書朗読 ローマ人への手紙1章1～12節

特別賛美 ティム・シェパード「I hear the Lord passing by」

メッセージ 「イエスさまについていこう！」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌431番「なやめる人々」

賛 美 ～主イエスをほめよ～ [献金：千鶴子姉・和田姉]

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 ～平和はじめて知った～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします! ☆
《今週のお知らせ》

☆本日も礼拝の恵みを感謝致します。午後は聖歌隊の練習が行われます。

★今週の祈り会は、①明朝6時。②木曜午前10時半/夜7時半。③土曜夜8時。

☆来週日曜礼拝では誕生祝福式。(司会：石井兄/祈禱：白川兄/献金：政枝姉・千鶴子姉)

《予告》 2/9(日)：聖餐式/執事会、 20(木)：大手家庭集会

☆☆一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [1/26-2/2]☆☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	マタイ 18/出エ ジプト記 6-8	18/9-10	19/11- 12	20/13-14	20/15- 16	21/17-19	21/20- 21	22/22- 23
チェック	0/000	0/00	0/00	0/00	0/00	0/000	0/00	0/00

「イエスさまについていこう！」

～唯一の救いに至る道～

「そこで、わたしとしての切なる願いは、ローマにいるあなたがたにも、福音を宣べ伝えることなのである。わたしは福音を取としない。それは、ユダヤ人をはじめ、ギリシヤ人にも、すべて信じる者に、救を得させる神の力である。神の義は、その福音の中に啓示され、信仰に始まり信仰に至らせる。これは、『信仰による義人は生きる』と書いてあるとおりである。」
ローマ人への手紙1章15～17節

使徒行伝28章で、ローマに到着したパウロの姿を先週共に見ました。今週からローマ人への手紙に入りますが、そのローマに行かれないでいた時に書かれた手紙です。「信仰による義人は生きる」というハバク書2章4節の言葉に象徴される、「信仰による義」について書かれている手紙です。教理的な内容が11章まで、そして、12章からは実生活における私たちの信仰について書かれていきます。難しい表現がたくさん登場しますが、できるだけ、かみ砕いて、シンプルに分かり安くお伝えしていきたいと願っています。

1章の前半では、「福音」＝「ゴスペル」について書かれています。「Gospel」は「God」と「Spell(綴り⇒ことば)」という言葉から造られていて、「神のことば」とも訳せます。ここでパウロは、「福音とは、御子イエス・キリストのことについての内容である」と説明しています。そして、イエス様は人であり、神の子すなわち神そのものであるということを伝えています。そして、そのことをパウロは使徒として、世界中のすべての人々に伝えなければならないと自覚していました。そして、福音を語りつばなしではなく、すべての人々が神に従うことができるように導く使命があることも自覚していました。それは、とんでもなく大きな役目であり、責任であります。そのため自分自身が打ちのめされそうになることもあったわけですが、お互いに励まし合い、祈り合うことによって、力をいただくことも信じていました。そのためにローマにいるクリスチャンたちに会いたくてたまらなかったことが表現されています。

そして、後半には、「彼ら」という表現がありますが、私たち人類は、神から離れて、神に従い得ないような状況の中にあつた。しかし、神によって、目が開かれて、真理が解き明かされて、次第に神に従う者たちが起こされていることも語っています。しかし、パウロの時代も今の時代も同様に、神に対して目が開かれていない状況を通して、人々が自分の生き方を追い求めて、正しい方向に進みたいとは願っても、神を見いだすことがないまま進んでいくことで、さらに間違つた方向に進んでしまうということが書かれて行きます。長野市の駅前で起こつた連続殺傷事件も、また、元 SMAP の中居さんに起こつた出来事も、様々な出来事が、神から離れた人間たちの末路のようにも感じます。そんな滅びるしかない、希望が見えない人々に対して、私たちは執り成し祈り、愛を持って真理をお伝えしていかなければならないことを強く思います。イエス・キリストの中に真理があります。このお方に聞くこと以外に救いに至る道はないと聖書は語っています。イエスさまについていこうという道が私たち人類の救いの道なのです！